



斜面点検



水門点検



ダム点検

第4号発行にあたり

第4号では、平成22年度の工種毎の取り組みについて報告します。

また、平成22年7月15日、16日に開催された、「第17回アセットマネジメント担当者会議幹事会」の内容について報告します。

県管理施設数と長寿命化計画対象施設数
(平成22年4月1日現在)

工種	単位	県管理	対象
舗装	km	2,663	2,663
橋梁	橋	3,153	3,153
トンネル	トンネル	147	147
水門・陸閘	箇所	203	203
係留施設	km	34	34
斜面施設	道路擁壁	km	-
	急傾斜法面	千㎡	37
ダム	箇所	3	3
管路	km	128	128

※舗装→未舗装延長を除く。急傾斜法面→長大法面のみ対象。管路→流域幹線のみを対象。

発行・編集

静岡県建設技術監理センター

〒421-0122

静岡市駿河区用宗1丁目10-1

TEL 054-268-5003

FAX 054-258-6030

交通基盤部では、「舗装」「橋梁」「トンネル」「水門・陸閘」「係留施設」「ダム」「斜面施設」「管路」の8工種において、土木施設長寿命化計画に取り組んでいます。

「舗装」 -道路保全課舗装班-

本年度より事業化された「道路施設長寿命化緊急対策事業（以下、「緊急対策事業」という）」等により、中長期管理計画に基づいた舗装補修を実施します。計画では、大型車交通量が多く、劣化の激しい箇所約380kmを、平成28年度までの7年間で集中的に修繕し、予防保全型管理への移行を図ります。

また、東部地区の国道における路面性状を調査します。なお、路面性状調査は、国道は3年毎、県道は5～8年毎に実施することとしています。

「橋梁」 -道路整備課橋梁班-

「舗装」と同様、「緊急対策事業」を活用し、中長期管理計画に基づいた橋梁補修を実施します。本事業では、特に重要度が高い橋梁のうち、すでに管理限界を下回っている橋梁107橋を、7年間で集中的に修繕し、予防保全型管理への移行を図ります。

また、平成19年度まで行ってきた初回点検に引き続き、2巡目の概略点検（職員が実施）及び、詳細点検

（外部委託）を実施します。なお、職員を対象とした橋梁点検研修を実施し、点検精度の向上を図っていきます。

「トンネル」-道路保全課維持防災班-

土木施設長寿命化の取り組みとして策定した「トンネルガイドライン（案）」や「静岡県道路トンネル点検要領（案）」に基づき、今年度も引き続き、トンネル詳細点検を31箇所実施します。この点検結果を踏まえ、既存のデータベースシステムの改良や基準を見直す予定です。

また非常用設備については、近年劣化が著しいことから、「舗装」「橋梁」と同様、「緊急対策事業」等により、7年間で緊急的に設備更新を図る予定です。

「水門・陸閘」-河川海岸整備課河川海岸整備班-

沼川第2放水路水門において、長寿命化計画に基づいた補修等に関する詳細設計を実施します。

また、県管理203水門について、外部委託等による定期点検を実施します。

「係留施設」-港湾整備課港湾工事班-

清水港と田子の浦港について、長寿命化のための維持管理計画を策定します。

また、すでに計画策定済みの施設については、維持管理計画書に基づき日常点検を実施します。

「ダム」 -河川企画課利水班-

奥野ダム、青野大師ダム及び、太田川ダムの定期点検を実施します。

また、奥野ダムについては、長寿命化のためのデータベースを構築していきます。

「斜面施設」 -道路保全課維持防災班
・砂防課傾斜地保全班-

道路施設については、道路防災週間の点検箇所から抽出した箇所及び経過観察箇所 18 箇所について定期点検を実施します。

急傾斜施設については、計画的点検箇所及び急傾斜地パトロールにて異常が確認された箇所 21 箇所について点検を実施します。

「管路」 -生活排水課流域下水道班-

狩野川東部以外のデータベースを構築し、長寿命化のための維持管理計画の策定に着手します。

また、管理施設における定期点検を実施します。

**第 17 回アセットマネジメント
担当者会議幹事会**

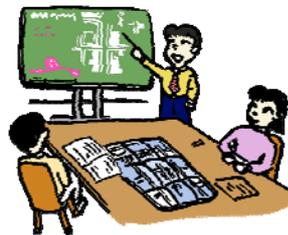
第 17 回目となるアセットマネジメント担当者会議幹事会が山形県で開催されました。

・内容

- ① 長寿命化に関する取組み事例の紹介（山形県及び愛知県の事例）
- ② 社会資本の維持管理に関する情報交換
- ③ 提案議題に関する討論
- ④ 長寿命化対策工事予定現場視察

<詳細>

- ① 事例紹介では、近年の緊縮財政の中、内部の財政協議で補修事業費を確保してきた事例（予算必要性アピールの工夫）について紹介がありました。
- ② 今年度多くの自治体が受検した社会資本の維持管理に関する会計検査では、施設の点検結果及び台帳が適切に整理されているかについて重点的に調査されており、長寿命化の基礎となる点検資料の整理が重要であると再確認しました。
- ③ 参加者から、計 2 3 の議題が提案され、各自治体が苦慮している問題等について、活発な情報交換が行われました。議題は、橋梁の点検に関するものが多く、頻度と費用のバランスに苦慮している状況が伺えました。
- ④ PC 橋の上部工補修予定現場を視察しました。上縁定着部の PC において、シース内へのグラウト充填不足により、シース内に雨水が浸入し、PC 鋼線が腐食した状況や、主桁の欠損・ひび割れが発生している状況を確認しました。部分補修した場合、PC 鋼線が破断する可能性があるため、安全な補修方法を検討中とのことでした。



「アセットマネジメント担当者会議幹事会」とは…

アセットマネジメント担当者会議は、各地域においてアセットマネジメントの導入に積極的に取り組んでいる担当者により構成し、各担当者において蓄積された橋梁や舗装に関する知識や知見、情報などの共有・活用と、マネジメントに関する研究・開発により道路管理事業の充実や効率化を図り、もって道路交通確保に資することを目的としています。

静岡県も、アセットマネジメント担当者会議幹事会に参加し、全国の自治体とともにアセットマネジメントに関する様々な情報交換を行なっています。



参加自治体

- 北海道 青森県 秋田県
- 山形県 新潟県 埼玉県
- 富山県 静岡県 石川県
- 愛知県 岐阜県 三重県
- 兵庫県 大阪府 広島県
- 山口県 愛媛県 福岡県
- 福岡市 大阪市
- (20 道府県政令市)

【道路施設長寿命化緊急対策事業】 ~道路局の新規事業 平成 22 年度~28 年度(7 年間)

<概要>

道路施設の大更新時代が始まり、今後は安全な利用を確保しつつトータルコストの縮減につなげる道路施設の長寿命化が必要であり、平成 15 年度に策定された「土木施設長寿命化行動方針(案)」に基づき、ガイドラインの策定、点検、データベース構築、中長期管理計画の策定を進めてきた。
その結果に基づき、劣化の著しい橋梁・舗装・トンネル設備について、今後の効率的で経済的な維持管理を行っていくための緊急修繕を 7 年間で実施し、予防保全型の管理へ移行する。

区分	対象	事業内容
橋梁	107 橋（県管理橋梁 3,120 橋のうち特に緊急度の高い橋） ・重交通路線への影響が大きい橋（跨線橋・跨道橋） ・橋長 15m 以上の緊急輸送路の橋梁 ・橋長 100m 以上の長大橋等	・主部材取替 ・支承取替 ・塗替 など
舗装	約 380 km （県管理 2,661 km のうち大型車交通量の多い 1,361 km において、7 年間に劣化の著しい箇所）	・舗装打ち換え ・切削オーバーレイ など
トンネル設備	26 トンネル （非常用設備設置 42 トンネルのうち、適正な更新時期を迎え故障時の供用に支障を来すトンネル設備）	・非常用設備更新

《おしらせ》

交通基盤部の HP に各工種のガイドラインを PDF ファイルで公表しています。

静岡県交通基盤部アセットマネジメント関連ページ ⇒ <http://www.shizuoka.jp/kensetsu/ke-030/asset/index.html>

